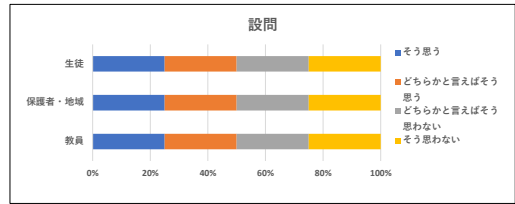


# 学校評価 成果と課題



学校評価の結果をお知らせします。(令和2年12月実施)



- 【成果のみえた設問について】
- 生徒・保護者・地域・教員の三者全てで、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた割合が80%以上の設問は、全15設問中10設問であり、昨年度とほぼ同数の結果となった。(設問1,3,4,5,6,10,11,12,14,15)
  - 【課題のある5つの設問について】
  - 「発表や話の聞き方」については、特に生徒の評価に課題がみられる。  
→ 日頃の授業の様子を見ると、話の聞き方は大変素晴らしいと感じているので、生徒の中にある発表についての苦手意識をどのように減らしていくかが、今後の課題となろう。意見交換や発表の機会を増やすなど、コミュニケーション能力や表現力を高める指導をさらに工夫していく。
  - 「体力向上の取組」については、生徒・教員の評価に課題がみられる。  
→ 今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、授業や体育祭、部活動に制限が加わり、体力向上の取組が思うようにできなかったことが原因の一つとして考えられる。しかし、しばらくは、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの体力向上策を探っていくことになる。
  - 「教育相談体制」については、生徒の評価に課題がみられる。  
→ 本校には、悩み等を聞いてくれる「さわやか相談室」もある。改めて、「さわやか相談室」の利用の仕方等を分かりやすく説明するとともに、教員もさらに、生徒・保護者の声を傾聴し、信頼関係づくりに努めていく。
  - 「潤いのある環境整備」については、教師の評価に課題がみられる。  
→ 教員に周知し、再度意識の高揚を図り、よりよい環境づくりに取り組んでいく。
  - 「家庭学習習慣」については、生徒・保護者・地域の評価に課題がみられる。  
→ 家庭学習習慣をつけようと、学校では、家庭学習ノートの取組など、毎日のように課題や宿題を出しているが、生徒の自律心をどう育てるかが、今後のカギとなってくると思われる。学校・家庭とが一体となって取り組み、生徒の自律心を育てられるように工夫していく。
  - 【地域・保護者から寄せられた意見】
  - 自転車の2人乗りや道路いっぱいには広がる、一時不停止など自転車の乗り方が良くない。  
→ 再度、自転車の乗り方等の交通安全についての指導を行い交通事故防止に努めていく。
  - 中間テストや期末テストが無く、高校受験が心配。定期テストを復活させて欲しい。  
→ 定期テスト前に広範囲の学習を集中して行う暗記中心の学習から、単元毎のこまめなテストを行うことで、わからないことをわかるようにし、単元毎の学習内容の定着と学習習慣の定着を図っている。さらに、再チャレンジテストを行うことで、生徒の学習意欲向上もねらっている。来年度は、細部を見直し、さらに充実させていく。
  - 学校に電話をかけた際、名前を名乗る先生が少ない。  
→ 職員に電話に出る際は、名前を名乗るように周知した。
  - コロナ禍、子供が喜んで登校できるのは、先生方のお陰。いつも、夜遅い時間まで、生徒に寄り添ってくださりありがたい。  
→ 引き続き、感染症対策に努めるとともに、生徒に寄り添い、生徒との信頼関係づくりに努める。